

心の輪を広げる体験作文 小学生部門 ◆佳作

「心の交流」

相模原市立桂北小学校 三年 峯 幹太郎

みね かんたろう

ぼくは、桂北小学校の三年生です。

六月に三年生のみんなと津久井しえん学校にしえん学校の人たちと交りゆうをしに行きました。

まずはじめに自己しょうかいをしました。その後、たいいく館でパラバルーンや物はこびりレーをしました。

その中で、自己しょうかいの時に、自分で話せない人や手話で話をしている人がいました。また、目も耳も口も体もうまく動かせない人もいました。ぼくがその人たちのことを想ぞうした時に、いろいろなことをしたいと感じ、その人の気持ちを聞いてみたいと思いました

お父さんにテレビで目が見えないピアニストを見せてもらいました。目が見えないはずなのにどうして上手にひけるのかとてもふしぎに思いました。

ぼくのことと言えば、ぼくにできることと、しえん学校の人たちにできないことがあってぼくにできることは大切にしていけないといけないんだけど、この間、エアガンでまちがえて自分の右目を打

ってしまい、もう少しで目が見えなくなるどころでした。

ぼくは、しょうがいのある人もない人も、なかよくくらしやすい世界にしていきたいので、こまっていたら話を聞いて手伝っていきたいです。そして、ぼくにできることは、しょうがいのある人にいかしたいです。